

日本に於ける労働階級の解放に計し、その必要を感ずるべきものであるが、
考へがたいのではありませぬが今日の情勢上止むを得ないものと分るも
昔には今日の日本の労働運動はやらなければならぬと云ふが
心算なされた問題の爲めに二三組合を率ゐるものもあつた
です、関東同盟会も最初の階級問題が起りました事は全く全
然を盟會並に日本の組合運動は働く高層に計して之を一つの
か龍びをしなければならぬ、併し其がうそれか止むを得ない
事であつた又それが日本の労働運動を統べて行く上に於て不安
あると知るやうな事は、吾々は彼等の中を著し之を馬を踏んで行
ければならぬと云ふ事は労働階級の設立の運動の爲めに急いで
を振つて進んで行かふと云ふものであります、階級問題に就きま
は吾々は殆んど関西同盟会と同へであります、只本年度の臨時大

会の同の期間が甚だ短いのであります、其の間にはけり、関東同盟
会が外の労働組合或は社会運動の振張に矢加し、而して
て関東方面に於て続けて来す、尤も大体はよしとす、と、
大業反対運動であります、更に労働組織準備委員会に於
ける関東地方のそれにして、既に在り、或は関東に於ける、
勤労組合と同一歩調を取つて充分に努力して来たのであります、
高橋君は特に関東同盟会として、諸君に殺生しなれ、
と云ふ事は、吾を自身は最も危ぶまれ、最も危険視されて、
同盟会がどうしてと云ふ點に就ては、全国の同志諸君が、
りに危ぶんでゐた事と思ふのであります、その意味に於き、
て、関東同盟会はその内部の充實、内部の統制に計して、
その力を振つて来たのであります、
一、統一の事は、既に統一の